

# 国立科学博物館サイエンスコミュニケーター養成実践講座の歩み

2003 S・ストックルマイヤー他編著  
「サイエンス・コミュニケーション 科学を伝える人の理論と実践」翻訳出版



2004 2004～2006年(平成16年度～平成18年度) 科学研究費補助金(基盤研究B)  
「科学コミュニケーターに期待される資質・能力とその養成プログラムに関する基礎的研究」

2005 国立科学博物館 サイエンスコミュニケーションに関する有識者会議 設置  
国立科学博物館におけるサイエンスコミュニケーターの養成について―「つながる知の創造」を目指して―(中間まとめ)報告

8月～ 国立科学博物館サイエンスコミュニケーター養成実践講座が開講

期 名 名

SC1修了者の数

SC1・SC2の双方を修了した  
国立科学博物館認定  
サイエンスコミュニケーターの数

2007 1期 24名 10名  
・筑波大学大学院生命環境科学研究科との連携により、単位認定開始  
・国際シンポジウム「Museum Communication」開催



2008 2期 24名 5名  
・特別公開講演「サイエンスコミュニケーションと博物館の役割」開催

2009 3期 21名 12名  
4期 23名 12名  
・東京工芸大学大学院工学研究科(工業化学専攻)との連携により、単位認定開始  
・講演会・交流会「小柴博士を囲んで」

2010 5期 24名 12名  
・国立科学博物館サイエンスコミュニケーター養成実践講座に関する有識者会議 開催  
→国立科学博物館サイエンスコミュニケーター養成実践講座 評価報告を行う

2011 6期 23名 12名  
・国立科学博物館サイエンスコミュニケーター・アソシエーション(科博SCA)設立

2012 7期 22名 8名  
・筑波大学との連携協定の締結  
・特別公開講演「博物館における学び」開催  
・科博SCA企画シンポジウム  
「受けて伝えて！科学とメディア～あなたは何をみて行動しますか？～」開催



2013 8期 24名 12名  
・科博SCAへの支援体制の構築

2014 9期 24名 12名  
・科博SCA主催サイエンスカフェ  
「国立科学博物館の館長と話そう！私とイヌの素敵な関係」開催



2015 10期 24名 12名  
・東京農工大学大学院との連携により、単位認定開始  
・公開講義「サイエンスコミュニケーション事始め」開催



2016 11期 23名 12名  
・科博SCA広報誌 (Vol.1, Vol.2) の発行  
・科博SCA広報誌 (Vol.3) の発行



2017 12期 22名 11名  
・科博SCA広報誌 (Vol.4, Vol.5, Vol.6) の発行  
・書籍「科学を伝え、社会とつなぐ サイエンスコミュニケーションのはじめかた」刊行  
・科博SCA主催演劇公演「舞台 酸素 ～誰が『発見』した？～」開催



2018 累計 278名 130名  
・科博SCA企画シンポジウム  
「これからの科学の支え方 クラウドファンディングが変える科学の未来」開催